

CASBEE™ 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都市立下京渉成小学校	階数	地上4F、地下1F
建設地	京都市下京区皆山町438番地の1他	構造	RC造
用途地域	商業地域/近隣商業地域、防火/準	平均居住人員	350 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,000 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2010年2月 予定	評価の実施日	2008年9月22日
敷地面積	6,530 m ²	作成者	廣田 哲
建築面積	3,027 m ²	確認日	
延床面積	7,613 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.1 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B': ★★★★★ C: ★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 地域との連携、まちなみ・景観との調和を意識した外観計画を行う。また、地域開放を行うという特色もあり、全ての方が利用しやすい、安心・安全に配慮をおいた施設計画とした。		その他 周囲に建つ歴史的建造物の景観継承を意識し、まちなみへの調和を図った。
Q1 室内環境 自然採光、自然換気の配慮を行った。	Q2 サービス性能 バリアフリー、耐震性の配慮を行った。	Q3 室外環境(敷地内) まちなみ、景観への配慮を行った。
LR1 エネルギー 自然エネルギーの活用など、環境負荷の低減を図った。	LR2 資源・マテリアル 再生クラッシュラン等の再資源化に努めた。	LR3 敷地外環境 外部サッシに堅格子を採用するなど、周囲への照り返しを軽減する工夫を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される